

バンコク国際モーターショーに出展致しました。

先の2月19日に国内報道発表した超小型電気自動車『FOMM コンセプト one (フォーム コンセプト ワン)』を、3月24日から4月6日の2週間に亘り、バンコク市内のインパクトチャレンジャーホールで開催された東南アジア最大規模の自動車・二輪・関連製品の展示即売会である第35回バンコク国際モーターショー2014に出展しました。期間中の来場者数は177万9904人、販売台数は3万9415台の昨年並み。主催者集計によると販売総数のうち約74%が日本車。

出展車両は、2013年2月に設立されたベンチャー企業であり、次世代型モビリティの製造に関する技術やノウハウを有する株式会社 FOMM（本社：神奈川県川崎市、代表取締役 鶴巻日出夫）と、同社に出資参画した当社および日本特殊陶業株式会社とともに開発した第1号のコンセプトカーです。これまで分析を進めてきたマーケティング情報に、この度のモーターショーにおける市場評価を加え、量産仕様としてのつくり込みを進めていく予定です。展示会では、車両機能やコストに対する具体的なニーズばかりでなく、「直ぐに購入したい」といった声を含め、幅広い要望を伺うことができました。



FOMM ブースへの来場風景



車両のほかに展示した Fe/Al ハイブリッド骨格



大同工業 会社紹介パネル



FOMM ブースでの取材

【問合せ先】 大同工業株式会社 技術開発本部 開発部 新事業開発課

TEL : 0761-76-7004 (直通), Fax : 0761-72-6085, E-Mail : hp-web@did-daido.co.jp

..... FOMM ブース以外の会場風景 (参考)

